

《令和2年度 会計課 組織目標の達成状況》

重 令和2年度予算重点施策に関連する項目には、「4. 課題解決に向けた令和2年度の具体的な取組」欄に、左の記号を記載しています。

◆目標管理者

会計管理者 北相模 政和

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	4. 課題解決に向けた令和2年度の具体的な取組 【年度末実績】
<p>1 「第3次草津市行政システム改革推進計画」のアクション・プランに「公民連携手法の活用」および「内部事務の効率化」として、これまで外部委託が進んでいなかった業務について、段階的にアウトソーシングを導入することが位置づけられています。</p> <p>・総合窓口との一体的な推進は延期となりましたが、費用対効果を見極め、限られた経費の中で取り組みが可能な範囲での業務委託の検討は、引き続き課題となっています。</p>	<p>① 公金の支払手続きに関する支出関係調書等の審査業務を中心に、会計業務の段階的なアウトソーシングを進めます。</p>	<p>【取組】 公金の支払手続きに関する審査業務のアウトソーシングを図ります。</p> <p>【成果目標】 ・審査業務のアウトソーシングを図ります。業者選定については、プロポーザル方式により執行します。 ① ・アウトソーシング後も円滑に審査業務を遂行する必要があることから、業務委託開始前に調整期間を設け、受託者の審査業務習熟に努めます。 ・受託者の審査業務における理解度を確保するため、業務遂行にかかるマニュアルの提出を求め、必要な指導を行います。</p>	<p>【取組実績】 プロポーザル方式実施により業者を選定し、準備業務期間を設けたうえで、令和3年1月から審査業務のアウトソーシングを行いました。</p> <p>【成果目標実績】 ① ・円滑に業務を行う必要があることから、準備業務期間は一週間に一度、調整会議を行うとともに習熟度の確認を行いました。また、マニュアル提出を求め、必要な指導を行いました。 ・アウトソーシング開始後は、月に一度実績報告を受けるとともに、疑義事項がある場合は、内容確認のうえ、その解消に努めました。</p> <p>準備業務に係る人材派遣業務：5,599千円 業務委託：6,364千円</p>
<p>2 マイナス金利政策の影響により、各種預金の金利等が下落しており、公金の運用には困難な状況が続くものと見込まれています。</p>	<p>② 新型コロナウイルス感染症による社会情勢の変化はもちろんのこと、今後の景気や金融政策の動向を注視しつつ、低金利の状況下においても確実に有利な公金運用に努めます。</p>	<p>② 低金利の状況下においても確実に有利な公金運用に努めます。</p>	<p>【取組実績】 ② 歳計現金の収入・支出を的確に把握し、一般基金の一括運用を行う等、公金の適正運用に努めました。</p>